

EMC(EMI) 測定に携わる設計者の方へ

不要輻射ノイズ測定でお困りではありませんか？

- 試験サイトでの再測定が多発、予約も取り難い
- 設計変更 (部品選定) の効果が分からない
- 対策ノウハウが蓄積できていない

測定結果

NG



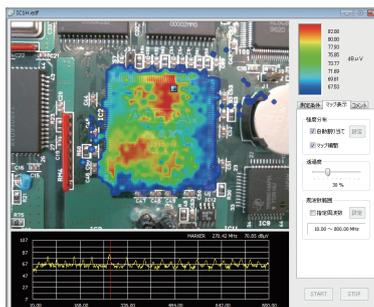
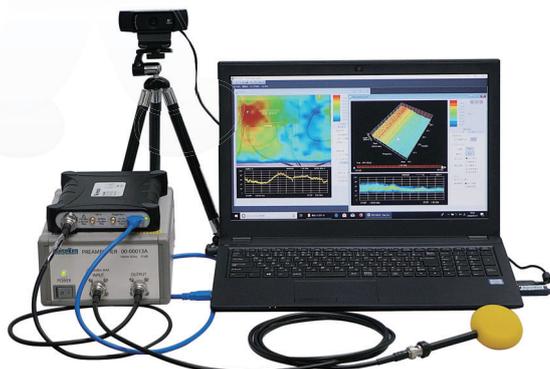
「電磁波の可視化」で

効率的に短縮

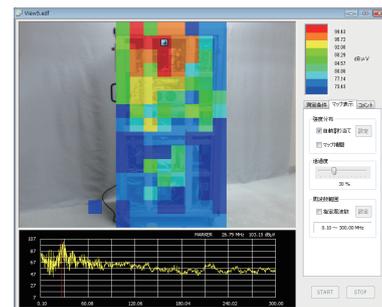
EMC対策が効率的に、設計期間が短縮できます。



- 👉 Point1 事前に社内で見当付けが可能
- 👉 Point2 基板から筐体まで測定可能
- 👉 Point3 設計変更の効果確認が容易
- 👉 Point4 社内外へのデータ共有へ活用



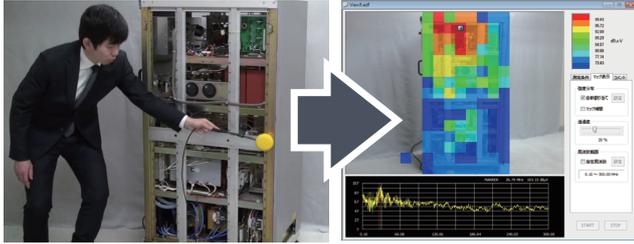
部品より輻射している電磁界



大型機器より輻射している電磁界

Point1

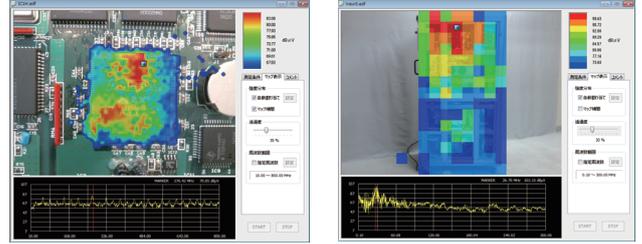
事前に社内で見当付けが可能



電波暗室での本測定の前段階において、製品の輻射レベルを抑え込むことで、本測定の回数を抑えることができます。

Point2

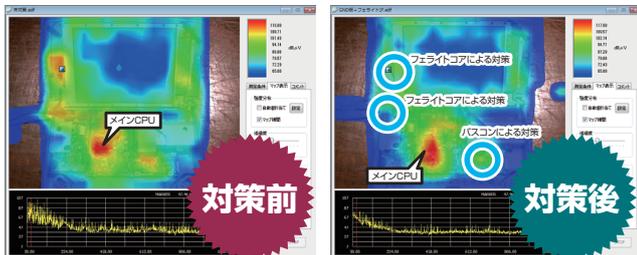
基板から筐体まで測定可能



部品や基板などの小さいものから、据え置き設備などの大型機器まで大小さまざまなサイズの測定ができます。

Point3

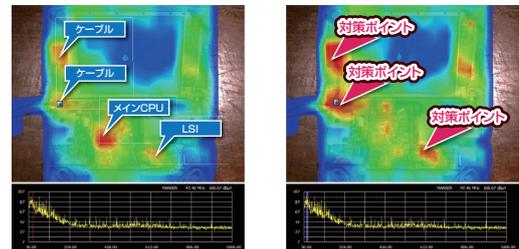
設計変更の効果確認が容易



対策前後の比較をデータとして確認することができます。また、測定データは差分表示することも可能です。

Point4

社内外へのデータ共有へ活用



測定結果データの蓄積により、最適な設計や対策のルール化、ノウハウ向上と共有化ができます。

ノイズ研究所の可視化システムが RSA306B でもご利用できます！

ノイズ研究所のノイズ可視化システム EPS-02EV3 が 4 月に改版！
MDO シリーズに加え RSA306B でも標準使用出来るようになりました。



代理店

※ 掲載している商品の仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。